

社 報

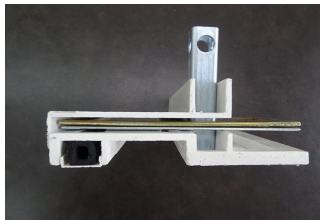


下請けにも格付けか

インプルーブで優秀賞

11月8日(水) 14:00～
朝日生命ホールにて第30回
インプルーブKANEKI21が
開催されました。

当日は5件の優秀提案の発表があり、当社の改善事例「コン天不陸によるノロ流失を防止する。」も優秀賞として発表いたしました。



「敷ガッチ」



国土交通省は、建設キャリアアップシステムに登録される技能者の就業履歴・資格情報を活用した能力評価基準を策定するため、11月にも有識者や関係団体による検討会を立ち上げる。

検討会では、技能者の能力評価、技能検定や登録基幹技能者などの資格制度を踏まえ、技能者の能力評価基準を策定する。システムに蓄積される就業履歴や資格情報は、本人確認などで真正性が確保される見込みで、検討会で客観性が高く、低コストで技能者を評価できる基準を検討する。能力評価に応じ、システム登録後に配布するICカードを色分けすることも検討する。

同省では、この能力評価基準と連動した専門工事業の企業評価制度も構築する。雇用する技能者の人数・評価を軸に、各企業の▽施工実績▽建機保有▽社会保険加入状況▽地域貢献などの評価項目を設け、優れた

技能者を抱え、施工能力のある企業が市場で選択される環境を整備する。

同省では、建設キャリアアップシステムの運用までに能力評価基準や専門工事企業の評価制度の大枠を示すことで、技能者・企業にシステムで得られるメリットを感じてもらい、システム登録を後押ししたい考えだ。

この話を聞いて感じることは、建設現場で働く人が、一般企業の従業員並に、職歴を明らかにして、社会保険への加入率をあげるといったように思います。今年の4月から始まった、社会保険の加入義務化が進んでいないのでしょうか。相変わらず、社会保険飛ばしが行われ、少々のズルをしてもコストを押えて利益を得たい、土建屋体質がはびこっているのです。

当社のように法令をきちんと守っている企業にとっては、歓迎すべきことであると思います。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

転倒して打撲

10月29日(水)14:00頃
花園ラグビー場の現場で、根がらみクランプの爪を広げようとして、メッシュパレットに引っ掛け引っ張った時に、金物がすべり後方へ転倒し、左ひじをぶつけた。
所属：一森組(2次)
被災者：稲田秀樹

職種：型枠大工
年齢：53歳
経験：9年4か月
傷病：左前腕部打撲傷
休業見込み：0日
足元の悪い場所で、体重を掛ける作業は慎重をお願いします。
今月は事故がありませんように！

2017年 安全成績

■現場災害 H29.1.1-H29.12.3	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 2
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 2
■交通災害 H29.1.1-H29.12.3	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 2
合計	----- 2